

24. ハラスメント

(1) ハラスメントとは

ハラスメントとは、学習上、教育上、研究上の立場や関係を不当に利用して不適切な言動を行い、学業や職務遂行に関連して一定の不利益を受けるか、教育研究環境を悪化させることです。

ハラスメントには、相手を不快にさせる性的言動（セクシュアル・ハラスメント）や、教育研究上の地位や立場を利用して行われる不適切な言動（アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント）があります。ハラスメントにあたるかは、防止規定や、行為が行われたいきさつ、被害を受けた人がどの様に感じたかなどによって総合的に判断されます。

あなたは大丈夫？

悪意の無いごく気楽な言動が、相手にとっては耐えられない苦痛になることもあります。誰もが、被害者にも加害者にもなります。

相手の気持ちや立場をくみとる想像力と、自らの言動を謙虚に省みる姿勢が必要です。教職員・学生・先輩・後輩の関係にあっても、人的には対等な存在です。日頃からお互いを尊重し、信頼関係を築いていれば、ちょっとした誤解が生じて、トラブルに発展することは避けられます。

こんな体験はありませんか？

クラブ活動は楽しいけれど、性的に不快な冗談が出たり、返答に困る様な性体験の話を聞かれるのが苦痛に思う。

指導を受ける際に、能力や人格を否定するような発言が繰り返され、長時間にわたって威圧的な説教をされた。

無視される、意図的に必要な情報がもらえない。

(2) ハラスメントに対する大学の基本姿勢

本学は、ハラスメントの防止、及びハラスメントが生じた場合に適切に対応するための措置について、規程を定めています。

全ての教職員は、ハラスメントの無い良好な就学環境を確保するように努め、身近にハラスメントが生じた際には、問題解決のため迅速かつ適切に対処する責任を負います。

本学の全ての教職員・学生は、個人としての人格を相互に尊重することに努めるとともに、自他のハラスメントを防止することに努める義務を負います。

問題解決の為に、大学が行うこと

クラス担任または相談員に相談してください。あなたが一番利用しやすい相談窓口でかまいません。あなたの相談に真摯に耳を傾け、プライバシーに十分に配慮し、秘密を守ります。

被害を受けた人が望む方向で、侵害された就学環境が回復されるよう援助し、解決策を探します。被害を相談したからといって、すぐに加害者とされた人に伝えたり、処分を下すわけではありません。

(3) ハラスメントだと感じたら

ひとりで悩まないで

不快な気持ちを相手に伝えられなくても、自分を責めたり沈黙する必要はありません。身近な信頼できる人に相談したり、大学の窓口を利用したりして、解決への助言や協力を求めましょう。あなたがどんな学生生活をおくるのか、どんな行動をするかは、あなた自身が決めることです。あなたの生活や学習環境をおびやかす不快な言動に対しては「いや」と言っているのです。

記録を取る

ハラスメントだと感じるような言動をうけたら、内容や日時、場所などについて、できるだけ詳しい記録を残して下さい。

あなたも誰かの力になれます

ハラスメント防止のために何よりも大切な事は、ひとりひとりがこの問題に向き合い、人格の尊重とは何かを考えることです。あなたにもできることが、きっとあります。

ハラスメントについて知る

大学の取り組みを知る

相手の人格を尊重する

ハラスメントを見聞きしたり、友人から相談を受けたら、放置せず相手の力になる

(4) ハラスメント相談窓口

利用しやすい窓口を選べます。相談者の意志を尊重し、秘密厳守で慎重に対応します。

◆メール受付（24時間いつでも）

メールアドレス helpstaff@nakanihon.ac.jp

携帯からも送れます。（学生番号と氏名の明記をお願いします。）

◆電話受付（平日9：00～17：00）

電話 0574-25-9641 内線1107（音声案内に従って内線番号を押して下さい。）

◆クラス担任

◆相談員

教員 高橋正則

藤田英樹

事務職員 石丸愛 事務局総務課

松井智子 保健室

ハラスメントは人権侵害です。中日本自動車短期大学での取り組みや、ハラスメントについて質問や意見があるときには、お気軽に相談窓口にご連絡下さい。

あなた自身が被害にあったとき、友人からの相談を受けた時、お気軽に窓口にご連絡下さい。

(5) 相談と解決の流れ（一例）

ハラスメントかどうか、自分で決める必要はありません。

ひとりで悩まず気軽に相談して下さい。

